

# まえほ 通信

発行日	2017年4月1日
発行元	自立センター前穂 〒569-1022 高槻市日吉台 1番町21-18 072-689-8600



## あの時この時

―ゲストさんと共に―

ガイドヘルパー 日吉益夫

阪急高槻市駅への途次、防寒衣のフードを脱いで、

「お母さん、サンパツした」

徳栗頭が爽やかです。

家庭用バリカンですね。日吉も子供

時代、母親にバリカンで刈られたのを

思い出しました。もう、五十年ばかり

前の大昔です。でも、あれは、ガリガ

リして痛かったなあ…。敏夫さんは

どうやったんかな？

その敏夫さん、イガグリ頭を一撫で

した掌で、

「マスオさん、ヒゲそった」

と日吉の顎を撫でてくれます。

マスオさんとトシオさんの、三か月

ぶりの再会は、こうして、親しい雰

気で始まりました。

雨が小降りになったので、大阪城の

気道。

広い梅林では、たった数本の白梅が

二分咲き程度でしたが、早春の糖雨に

打たれる風情に、日吉は満足です。

敏夫さんは、東屋内に腰かけ、

リュックから取り出した魔法瓶の焙じ茶を口に運ぶ。コップ代わりの蓋から湯気が立っている。持参の魔法瓶で、冬は温かい焙じ茶、夏は冷たい麦茶―いいですね。

日吉も一杯お呼ばれしたお返しに、常備のチョコ玉を進呈です。

白梅を眺め、お濠むこうの天守閣を

望み、チョコを舐め、あつたかいお茶

をいただく…お母さんに感謝やね、

敏夫さん。

城内喫茶での昼食後、仰せの通り、

茨木市にあるスーパ―銭湯（極楽湯）

へ。敏夫さんの温泉好きは、ガイド仲

間では有名です。

二時半、入湯。

まずは掛湯をして、並んで洗い場に

腰かける。

マスオさんが咳払いすると、トシオ

さんもゴホン。髪を洗い、リンスし、

顔を洗うと、トシオさんも同じくその

とおり。次に両耳の後ろを拭くと、そ

れも、右、左と、同じ順序で見よう見

真似…。

背中では、これはお互い流しっこしま

した。

次は屋上の露天風呂へ。木肌の感触

がやさしい檜風呂です。のぞきはじめ

た青空のもと、くつろいだ日吉

は、湯船脇に敷きつめられた白小石をつまんで、意味もなく湯船縁に並べる。すると、ちゃんと数までそろえて、同様に並べはる。

うーん、マスオさんのすることみい

んな、気になりはるんかなあ…。

でも、さすがに、お湯の中でしたお

ならまで、こればかりは真似しかねた

ようです。

ご機嫌の敏夫さんと、雨上がり、早

春露天の、のんびり、ゆったり、極

楽湯でした。

※ガイドヘルパー名、ゲスト名は仮名です

## eラーニングに伴う社内研修の実施

昨年4月より、スタッフの介護技術や、知識向上を目的とした研修システム「eラーニングシステム：障がい者支援者教育プログラム：株式会社Lean on Me」の導入と共に、実技研修を定期的に行っております。すでに「身体介護技術」や「虐待防止」、「服薬に関する注意点」、「移動支援の留意事項」などを行って参りました。

この4月には「ビジネスマナー研修」として、振る舞いや挨拶、身嗜みなどを予定しております。このような社内研修を通じて、スタッフのスキルアップ、より良いゲストへの接遇に役立てたいと考えております。

## 知的ガイドヘルパー養成講座

人材の養成及び、障がい（児）者の社会参加促進の一環として、知的養成研修を定期的を実施しております。3月には6名の受講生が資格を取得致しました。本年度も4月より大阪府立福井高等学校の福祉課コースの生徒の皆さん11名への移動支援知的養成研修の実施を予定しております。今回も、生徒の皆さんへガイドヘルパーという仕事の楽しさや、重要性をお伝えしたいと思います。